

第3回

「但馬在日朝鮮人の軌跡」

- ▶講師：太田修さん（同志社大学教授）
- ▶日時：2017年9月16日（土）14：00～16：00
- ▶場所：兵庫県立のじぎく会館（ふれあいルーム）

神戸市中央区山本通4丁目22番15号／TEL：078-242-5355

京都から幡生（山口県下関市）までのおよそ670kmを結ぶJR山陰本線は、1900（明治33）年に着工し、1933（昭和8）年に全線が開通しました。

この工事には、韓国併合（1910年）以前より、多くの朝鮮人が従事していたことが明らかになっています。内務省と、第二次日韓協約（1905年）により韓国におかれた日本の支配機関である統監府が推進、許可したことにより、朝鮮人労働者の大規模な渡日就労が実現しました。『大阪毎日新聞』1908年5月3日付の記事「韓国暴徒を輸入せんとす」には、日本の支配に抗した人々を「暴徒」とし、統監府に追放された彼らが、日本人ブローカーにより、日本へ労働者として送り込まれる様子が描かれています。

兵庫県北部での工事は鉄道工業合資会社が請け負って、日露戦争後の1907年から1911年まで行われました。兵庫県内の路線には難工事で知られる余部鉄橋や桃観トンネル等があり、過酷な労働のなかで、多くの朝鮮人労働者が事故や病気で亡くなりました。現在、但馬の山陰線沿線には、工事で亡くなった朝鮮人の墓や慰霊碑などが、日本人の手により大切に守られています。

2017年度第3回の人権歴史マップ連続セミナーでは、同志社大学教授で『朝鮮近現代史を歩く 京都からソウルへ』（思文閣出版、2009年）等の著作のある太田修さんに、但馬における在日朝鮮人の軌跡についてご講演いただきます。

第4回

フィールドワーク「朝日新聞阪神支局襲撃事件」

日時：11月18日（土）14：00～16：00

※詳細が決まり次第、ホームページ等でお知らせします。

第5回

「兵庫の朝鮮通信使」

講師：仲尾 宏さん（京都造形芸術大学客員教授）

日時：2018年3月10日（土）14：00～16：00

場所：未定

※連続セミナーにすべて参加された方には「修了書」をお渡しいたします。

※参加資料代：・フィールドワーク以外の回 【一般】800円 【会員・定期購読者・学生】500円

・フィールドワークの回はその都度お知らせします。

※なお、講師、内容等が変更になる場合もございます。ご了承ください。

▶お申込み・お問い合わせは…

一般社団法人 ひょうご部落解放・人権研究所

TEL：078-252-8280／メール：blrhyg@extra.ocn.ne.jp